

B分科会 管理職のための財務の見方

講 師：1 日 目：山本 雅淑 氏 / 新倉 健二 氏

2・3 日目：菊池 裕明 氏 / 針沢 一秀 氏

(日本私立学校振興・共済事業団)

運営委員：土門 久美子 / 福田 貴夫 / 真板 陽介

この分科会には、理事、法人事務局長及び経理部門の管理職の方々を中心に44名の申し込みがあり、学校会計に関する知識が豊富な方から、初めて学校会計に携わる方まで幅広い層の方々にお集まりいただきました。講師には、日本私立学校振興・共済事業団から、1日目は、私学経営情報センター長 山本雅淑氏及び私学情報室主幹 新倉健二氏、2・3日目は、経営支援室長 菊池裕明氏及び経営支援室主幹 針沢一秀氏をお招きし、学校会計の基礎から、自法人の財務分析、経営判断指標等に至るまでの内容を、演習を織り交ぜながらわかりやすく解説していただきました。

初日は、管理職にとって、いかに会計や財務の知識の必要であるかということから始まり、学校法人会計の歴史や目的等についても学びました。その後、各計算書類の目的や構造についての解説をいただき、それぞれの計算書類の関連性や作成の流れ等についても理解を深めることができました。講義の最後には、「学校法人会計基準についての問題集」を解く時間を設け、学校法人会計上の用語の意義や、間違いやすい項目等について再確認をすることができました。

2日目は、自法人の決算書を用いて、財務分析の実践を行いました。自法人の財務分析結果を全大学法人等のデータと比較した相対評価に基づいて、財務分析レーダーチャートを作成したことにより、各法人の強み又は弱みを客観的に把握することができました。また、CF計算書についても解説していただき、その必要性及び作成方法等について学んだ上で、実際に自法人の資金収支計算書からCF計算書を作成する演習を行いました。それぞれの法人の各活動におけるCFの状況を理解することができたことに加え、教育研究活動のCFを用いた経営判断指標についても理解を深めることができました。

最終日は、前日の経営判断指標について、日本私立学校振興・共済事業団に作成していただいた参加法人ごとの経営判断指標判定表を用いて、具体的な判定の手順や判定結果の活用方法等について学びました。また、各学校の損益分岐点分析についても、各学校におけるキャッシュベース及び損益ベースでの分岐点となる学生数を各自で計算したことによって深く理解することができました。最後に私立学校法についても演習問題を使いながら解説いただき、私立学校法の概要から昨今の改正点までを再確認することができました。

この3日間の分科会によって、参加した管理職の方々に、決算書から各学校の現状を読み取り、今後の課題の発見や、経営上の目標等を定める力つけていただくことができたと思います。日本私立学校振興・共済事業団の方々にはわかりやすい資料等をご準備いただいたことに加え、丁寧なご指導をいただきましたことに心より御礼申し上げます。